

## ◆ 企業情報

企業名	株式会社光英科学研究所		
所在地	和光市新倉 5-1-25	T E L	048-467-3345
資本金	10,000 千円	従業員数	18 人
事業内容	乳酸菌生産物質の製造・販売、乳酸菌の培養		
URL	<a href="https://koei-science.com/">https://koei-science.com/</a>		

## ◆ 企業沿革

- 昭和 4 4 年 東京都目黒区にて創業  
平成 6 年 和光市に生産工場を設立  
同年法人成りし、「株式会社光英科学研究所」となる  
平成 7 年 千葉県茂原市に千葉中央研究所を設立  
平成 2 1 年 和光理研インキュベーションに入所  
平成 2 8 年 本社兼新工場完成し、現在地へ移転  
平成 3 0 年 1 月より本社敷地内に新設する第 2 工場を稼働



本社兼工場



平成 3 0 年より稼働開始した第 2 工場

## ◆ 経営革新に取り組んだきっかけ

### <当時の課題>

- ・当社は和光市にて、豆乳を乳酸菌発酵させた健康食品素材「乳酸菌生産物質」の製造及び研究開発を行っている。
- ・主要取引先から販売方針の変更が伝えられ、その影響で将来的に売上が大幅に減少することが見込まれた。想定される売上ダウンをカバーするべく、新規事業を検討することが不可欠となり、経営革新に取り組むこととした。

### <解決への道筋>

- ・当社は、和光市商工会内の工業部会に所属し、従来から良好な関係を築き商工会は良き相談相手であった。
- ・和光市商工会の経営指導員や、派遣された専門家と議論を交わすうちに、「他社と連携した商品開発のニーズ」や、「安価な商品の開発・製造・販売による販路拡大」に可能性があるという結論に達した。
- ・メインの取引先の受注減少が確実な中で、5年後の売上高を直近期末のほぼ倍とする目標に、社内から厳しい意見も出されたが、市場機会の存在に期待し、会社一丸で目標に向けて取り組むこととした。

## ◆ 経営革新計画の実践

### 1. プロジェクトチームの発足

- ・事業承継予定者である専務取締役と総務部長が中心となり、「経営革新計画策定チーム」というプロジェクトチームを社内に発足させた（部課長は全員参加）。
- ・和光市商工会の他、派遣専門家による支援を受けた。  
まずは従業員各自が新規事業の内容について自由にアイデア出しを行い、支援機関に方向性の整理などの舵取りをしてもらった。
- ・当社にとっては初めての事業計画書策定。プロジェクトチームで計画策定の会議を開くにあたり、当初は、「通常業務で忙しいのに…」という雰囲気もあったが、いつの間にか、会議の時間になると各自が自発的に集まるようになっていった。

### 2. 一般市場向けOEM

- ・他社ブランドと連携した商品開発に着手（企業、著名人等）。  
先方の都合により頓挫するなどしたが、将来的な可能性のある関係性構築に繋がった。

### 3. 自社製品通販

- ・瓶入りドリンク「ピュラ（乳酸菌生産物質抽出エキス）」を開発、インターネットにて販売。乳酸菌生産物質はサプリタイプでの飲用がメインであったが、手軽に飲めるドリンクタイプにしたことで好評を得た。

### 4. 経営会議の開催

- ・計画実行中は毎月経営会議を開催し、進捗状況について確認、修正を行った。  
商品のPR方法などについても話し合い、メディアへの積極的な働きかけを行った。



自社開発製品「ピュラ」



毎月実施している経営会議の様子

## ◆ 経営革新計画の成果

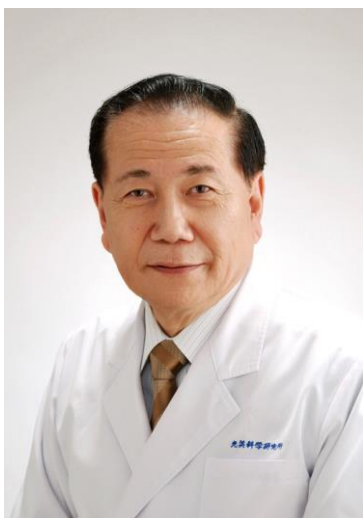
- ・売上高、経常利益、付加価値額の大幅アップを達成した。
- ・自社開発製品「ピュラ」は、これまでの健康に興味のある高齢者層ではなく、家族向け商品として好評を得ることができた。
- ・プロモーション強化により多数の雑誌に掲載され、取引先の間口が広がった。
- ・PDC Aサイクルによる経営が社内に浸透した。
- ・「何かあれば、みんなで顔を突き合わせて話し合う」という文化が社内に浸透した。職位などの垣根なく互いに意見やアイデアを言い合えるようになり、社内が活性化した。
- ・「毎日の行動が目標の達成に繋がる」という意識が生まれ、従業員のモチベーションアップに繋がった。
- ・事業計画書の策定ノウハウを得たことで、ものづくり補助金・戦略的基盤技術高度支援化事業（サポイン）等、多くの支援策を受けられた。

## ◆ 成功の秘訣

- ・5か年の計画を月間計画にまで落とし込み、毎月の経営会議でチェックしたことで、会社の方針を会社全体で共有することができた。
- ・支援機関を上手く利用したことで、計画策定がスムーズに行えた他、外部（第三者）の目線からのアイデアを得ることができた。実際に、専門家のアドバイスによって実現した企画もあった。

## ◆ これから「経営革新計画」に取り組む皆様へのメッセージ

- ・「とにかくやってみる」ということが大事です。「難しい」とか、「自社には必要ない」といったことは考えず、まずは思い切って取り組んでみることをお勧めします。
- ・当社のようにプロジェクト形式でやる場合、誰かひとり、「旗振り」の人が必要です。また、時間を決めて取り組むことでメリハリをもって取り組むことができます。



村田公英社長



従業員の皆様